



2018年4月10日

各 位

株式会社 ニトリホールディングス

小樽芸術村にて アール・ヌーヴォー アール・デコの彫刻展示室を新設、 藤田嗣治、加山又造、岡本太郎の新収蔵品を展示公開

この度、株式会社ニトリ（札幌市北区、代表取締役社長兼 COO 白井俊之、以下ニトリ）が運営する小樽芸術村の似鳥美術館では、4/1（日）よりアール・ヌーヴォー アール・デコの彫刻作品を展示する新しい展示室を増設、また、日本を代表する作家作品を新たに収蔵、展示公開いたしました。

1. 似鳥美術館1階に展示室を増設

地下1階のアールヌーヴォー アールデコガラスギャラリーに加え、似鳥美術館1階に新設した展示室に、アール・ヌーヴォー アール・デコの彫刻作品14点を公開しました。アール・ヌーヴォー、アール・デコの彫刻作品は、邸宅に飾る重要な装飾品として愛され、人々の暮らしに彩りと豊かさをもたらしました。地下のランプや家具とともに、当時の優美な世界観をご堪能いただけます。

アール・ヌーヴォーは「新しい芸術」を意味するフランス語で、曲線や動植物のモチーフを多用した装飾性の豊かさが特徴です。19世紀末からヨーロッパ及びアメリカで大流行しました。

その後、電気や交通機関の発達など科学技術の著しい進歩により、人々は機能的でモダンなデザインを求めようになります。そこで支持されたのがアール・デコ様式でした。アール・ヌーヴォーとは対照的に、直線や幾何学的文様の多用、左右対称なフォルムが特徴です。

この二つはいずれも建築や工芸、ファッションなど、生活に関わりの深い広範な分野で流行しました。



似鳥美術館 1F 新展示室 展示風景

シパリュス 《Friends Forever》象牙、鍍金ブロンズ H63.0×W65.0cm

2. 似鳥美術館の新収蔵品

藤田嗣治《婦人と犬》や加山又造《華》など、日本を代表する作家の油絵や日本画を新たに収蔵・展示いたしました。

また、岡本太郎の《坐ることを拒否する椅子》をはじめとする椅子作品六点とシルバーレリーフ三点を新たに収蔵・展示し、似鳥美術館 3階展望室が「岡本太郎の部屋」として生まれ変わりました。

1. 「婦人と犬」 作：1927/昭和 2 年 油彩、キャンバス 65.3×99.8cm
藤田 嗣治（1886/明治 19～1968/昭和 43 年）
2. 「自画像」 作：1957/昭和 32 年 油彩、キャンバス 27.3cm×22.3cm
藤田 嗣治（1886/明治 19～1968/昭和 43 年）
3. 「華」 彩色、紙本 60.0×91.7cm
加山又造（1927/昭和 2～2004/平成 16 年）
4. 「坐ることを拒否する椅子」 作：1963/昭和 38 年 陶磁 各 H47.0×W43.0cm
岡本 太郎（1911/明治 44～1996/平成 8 年）
5. 「手の椅子」 作：1967/昭和 42 年 繊維強化プラスチック H118.4×W68.7×D86.6cm
岡本 太郎（1911/明治 44～1996/平成 8 年）
6. 「駄々っ子」 作：1969/昭和 44 年 繊維強化プラスチック H86.5×W151.8×D77.5cm
岡本 太郎（1911/明治 44～1996/平成 8 年）

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ニトリ 小樽芸術村（担当：磯崎、金澤） TEL：0134-31-1033 FAX：0134-31-1035

mail：otaru-art-base-media@np-inc.jp